

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立出雲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・丁寧に細かく説明をすることで、児童が実践し、正しく道具を扱えるようになってきている。
- ・作品や制作を提示しながら説明をすることで、児童が理解しやすくなり、見通しをもって制作できるようになってきている。
- ・昨年度に比べて、児童の授業規律がより定着してきているため、集中して作品制作に取り組めるようになってきている。

(2) 課題

- ・正しく道具を扱えない児童がいる。低学年から道具の正しい使い方を指導するとともに、繰り返し指導し、定着させる必要がある。
- ・説明を集中して聞くことができないため、制作方法がわからない児童がいる。制作手順を黒板に示す、個々に声かけをするなどして、学習に取り組める環境を整える必要がある。

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・はさみや木工用ボンドの使い方などを丁寧に指導することで、正しく扱えるようになってきている。絵の具セットは、正しくない扱い方をしてしまう児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の決めたテーマに沿って、大きく表すことができるようになってきている。小さく表現してしまい、細かすぎて思うように作れなかったり、作品の一部が壊れてしまったりする児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に取り組む時間と、友達と相談したり話したり鑑賞したりする時間をしっかり分けて確保することで、見通しをもって集中して制作に取り組めるようになりつつある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校でのポスターカラーの使用を見すえて、水彩絵の具の正しい使い方の確認や、水分量と塗り方を意識させながら制作したため、ていねいに取り組めるようになってきている。 ・彫刻刀は安全に正しく扱えるよう指導を進めたが、慣れてくるにつれ正しくない使い方をしてしまう児童もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の形をしっかりとらえて表したり、色の関係を意識しながら配色し、大きく表したりすることができるようになってきている。 ・対象の形をとらえられず、思い込みで表してしまったり、小さく表わしてしまい、細かすぎて思うように表せなくなったりする児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に取り組む時間と、友達と相談したり話したり鑑賞したりする時間をしっかり分けて確保することで、見通しをもって集中して制作に取り組めるようになりつつある。

2 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> はさみやのりなどの正しい使い方について、ポイントを掲示するなどして繰り返し指導し、身に付けられるようにする。 絵の具道具やカッターなど、小学校で新たに使用する道具については、使い方や安全指導を一つ一つ丁寧に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発想を表現しやすいように、見本を用意したり、よい表現を共有したりする。 表現に迷う児童には個別に指導を行う。 作品の鑑賞については、めあてに基いた観点を意識させながら、よさを見付けさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、意欲的に活動できるように導入でのわくわく感を大切にする。また、どのように取り組めばよいかの、手順や完成の見本などを掲示し、見通しをもって取り組めるよう工夫する。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 児童が安全に正しく道具を扱えるよう、道具の使い方やポイントを丁寧に説明し、授業ごとに安全指導を徹底する。使い方が間違っている児童には、その都度指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の表現を十分に表すことができるよう、制作する上での注意点を事前に説明し、黒板に掲示する。 一人一人の児童が自信をもって表現できるよう個別指導を行い、鑑賞のルールを守れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が安心して主体的に安全に取り組めるよう、図工の約束を示し、守れるようにする。 見本作品や制作方法を掲示することで、児童が見通しを持って制作できるよう工夫する。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 児童が安全に正しく道具を扱えるよう、道具の使い方やポイントを丁寧に説明し、授業ごとに安全指導を徹底する。使い方が間違っている児童には、根気強く指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の表現を十分に表すことができるよう、制作する上での注意点を事前に説明し、黒板に掲示する。一人一人の児童が発想を広げられるよう個別指導を行い、鑑賞のルールの徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が安心して主体的に安全に取り組めるよう、図工の約束を示し、徹底を図る。作品や制作方法を掲示し、見通しを持って制作できるよう工夫する。